

富津市小・中学校再配置計画

【資料】



平成 29 年 1 月

富津市教育委員会

富津市小・中学校再配置計画【資料】

【資料1】市内小中学校教職員アンケートより

- 1 小規模校のメリット・デメリット
 - (1) 児童生徒の視点から
 - (2) 学校運営の視点から

- 2 複式学級のメリット・デメリット
 - (1) 児童の視点から
 - (2) 学校運営の視点から

- 3 再配置後のメリット・デメリット
 - (1) 児童の視点から
 - (2) 学校運営の視点から

【資料2】旧関豊小児童・保護者アンケートより

- 1 再配置後の児童のコメント
 - (1) 学習面
 - (2) 生活面
 - (3) 学校行事や校外活動等

- 2 再配置後の保護者のコメント（統合してよかったこと、課題として考えていること）

【資料3】小・中学校の学区について

- 1 市内小学校区
- 2 市内中学校区
- 3 天羽中学校・天羽東中学校を再配置した場合の学区
- 4 大貫中学校・佐貫中学校を再配置した場合の学区
- 5 天羽地区4小学校【湊小学校・天神山小学校・竹岡小学校・金谷小学校】を再配置した場合の学区

【資料 1】市内小中学校教職員アンケートより

1 小規模校のメリット・デメリット

(1) 児童生徒の視点から

内 容	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・個の実態に応じたきめ細やかな学習指導を受けやすい。 ・一人一人に教師の目が届きやすく、個に応じた指導をしてもらえる。 ・実技など一人ずつ体験できる機会が多い。 ・教材・教具の割り当て等が有効に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力が向上しない可能性がある。 ・多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少ない。 ・グループ学習や習熟度学習、専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を受けられない。 ・意見交換や情報交換、協働的活動がしづらい。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・個の性格や家庭環境等を理解している教職員に、より適切な生活指導を受けやすい。 ・決まりが定着しやすい。 ・一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい。 ・多くの係などの役割を持つことができ、責任感が深まる。 ・学級内の役員・係活動等、活躍の機会が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団遊び（サッカーや野球）ができない。 ・クラス替えができないため、人間関係が固定しやすい。 ・充実した組織的な係活動・班活動ができない。 ・多くの価値観に触れられない。 ・一人何役も担当するため負担が大きい。
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が主役として、活躍する機会がもてる。 ・一人一人の役割が多くなり、任されることで存在がより貴重なものになる。 ・各自に役割が回ってくるので色々な経験ができる。 ・全校で取り組みやすい。 ・多くの場面で運営に携わり、達成感や充実感がもてる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・切磋琢磨がしにくい。 ・運動会など「集団」としての活動が成り立ちにくい。 ・十分な盛り上がり欠ける。 ・役割分担を限られた人数で行うので、負担がある。 ・活動内容も構成も人数が減った分、減少してしまうので達成感も減少する。 ・4部合唱が成立しない。
クラブ・部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・部長等、責任のある立場になったり、選手として学校代表になる機会が増える。 ・陸上、体操、合唱等参加する機会が増え、様々な経験を積むことができる。 ・一人当たりの活動量（時間）が多い。 ・レギュラーになれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上、体操、合唱等苦手意識を持っている子でも参加しなくてはいけない状況生まれる。 ・集団競技に関してはチームが成り立たず、練習することも難しい。 ・単独チームが維持できない。 ・部活動の種類が少ない。 ・部員数の減少により切磋琢磨で

集団生活	<ul style="list-style-type: none"> ・学年男女関係なく全体的に仲が良く交流している。 ・子ども同士の関係が密になり、何でも分かり合う関係になれる。 ・縦割りの活動などで、年長者としての意識が芽生えやすい。 ・異学年交流を重視した教育活動により、全校的な児童生徒の交流が深まりやすい。 ・活動・活躍できる場面が多くなり、自主性やリーダーシップを発揮できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童・生徒との人間的なふれあいが少ない。 ・調理実習から修学旅行等の校外学習まで、個が負担する経費が高額である。 ・集団を高める、みんなで良くなるという意識が高まらない。 ・友人の様々な考えに触れ、自他を比較し、自分の考えを見つめ直し、考えを深めたり高めたりする、個と集団の学び合いが十分に行われない。 ・多くの価値観や意見に触れられない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校ゆえに融通が利くことはある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習などバス利用の仕方が難しくなる。

(2) 学校運営の視点から

内 容	メリット	デメリット
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じたきめ細かな指導が可能である。 ・特色ある教育課程を編成することができる。 ・ノートをよく見ることができる。 ・特別教室や校庭等の割り当てが十分であり、指導に余裕が出てくる。 ・一人一人の状況を把握しやすい。 ・学校の特色を出した取組をしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いなどで、思考を深めることが難しい。 ・話し合い活動や学習の発表など多くの人前での表現活動が成立しにくい。 ・コミュニケーション能力の育成が難しい。 ・競争意識が低くなり、学習意欲の高まりが難しい。 ・グループ学習など、工夫ある授業形態を実現しづらい。 ・人間関係が固定化され、競争意識が低い。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・全校の児童・生徒を把握しやすい。 ・個々の性格や家庭環境を把握しやすく、適切な生徒指導をしやすい。 ・全校でひとまとまりの指導ができる。 ・一人一人をよく観察でき、個別に対応ができる。 ・共通実践が確実にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス編制がなく、人間関係が固定化される。高校生になって様々な生徒と接する中で、挫折を味わうこともある。 ・人間関係が固定化し他者との共生、共感、協調性が持ちづらい ・多くの価値観に触れられず、自己主張の強い傾向が生まれやすい。 ・周囲と協調することが少なくなり、集団生活の中で学ぶ機会が

		減る。
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数で、一人一人が主役となる温かい行事を行うことができる。 ・小回りがきくため、多様な活動を計画しやすい。 ・まとまりやすく、掌握はしやすい。 ・少人数を活かした取組ができる。 ・生徒一人一人の活動する場面が多くなり、達成感や充実感、主体性を持たせやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち同士が切磋琢磨する機会が少ない。 ・盛り上がりには欠け、リーダー、フォロワーの関係や協力することの大切さなどを学ばせる機会が少ない。 ・役割分担等、人数が限られ、一人一人の負担が大きく、固定化される場合がある。 ・大きな集団で体得する充実感がない。 ・組織的な生徒会活動ができない。
指導、研修、校務	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層であっても、主要な分掌を任される機会が多いので、大切な経験となる。 ・学年間の連携が取りやすく、全校一斉での取組がしやすい。 ・全職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 ・一人で3学年の教科指導を担当するため、教科の系統性を踏まえた指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人の職員の分掌量が多く、多忙になるため子どもに向き合う時間が十分にとれない。 ・出張者が多い日には、授業が組めないほど学校が手薄になる。 ・教職員同士の相談・研究・協力・切磋琢磨が難しい。 ・一人で3学年の教科指導を担当するため、教材研究、授業準備、テスト問題作成等、負担が大きい。
PTA 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の親近感が強くなる。 ・家庭的な雰囲気の中で活動できる。 ・自分たちの学校としての意識が高く、PTA 活動に協力的な保護者が多い。 ・保護者と教師の間が近く、交流・意思疎通が密になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市 PTA 連絡協議会等、対外行事への参加が難しい。 ・役員を何回も引き受けてもらうことになり、負担が大きい。 ・PTA 会費が少なく、活動の見直しを図る必要がある。 ・PTA 家庭数が減少することで、行事や作業への負担が各家庭に大きくなっている。 ・家庭数減少により、PTA 会費が減収となり、運営が苦しくなっている。
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の学校」という認識が強く、協力体制が強固である。 ・互いに協力し合ったり、連携して見守ったりする活動を推進しやすい。 ・「地域コミュニティーの拠点としての学校」という意識が高 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人的資源、職場体験の受入などに限りがある。 ・連携できる地域協力機関や地域人材が乏しい。 ・地域の高齢化のため、取組が偏る。

	く、学校に協力的である。	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「本校はこれで勝負する」ということを明確にしやすい。 ・保健室で個々の子どもに時間をかけ、深く対応できる。 ・転出入・会計事務など把握がしやすく、学級担任に負担をかけずにすむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算が学校規模によって配当されるので、少ない予算での運営になり、余裕がない。 ・複数の目で多様に子どもをとらえることができないため、特性等の把握が一面的になりやすく、児童生徒の新しい可能性や能力の発揮を引き出せない可能性がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な規模が維持できない以上、未来をしっかりと見据えて早急に統合を進める必要がある。 ・学校施設の老朽化が進み、早急の改善が望まれるが難しい状況にある。 	

2 複式学級のメリット・デメリット

(1) 児童の視点から

内 容	メリット	デメリット
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・上学年の児童が下学年の児童に教える中で、自らの学習の振り返りや練習の機会を持つことができる。 ・異学年での活動が活発になり、技能教科では互いに教えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの深まりが難しい。 ・教科によっては、先生が替わる時があるので、その先生のやり方に慣れるのに時間がかかる。 ・同学年の児童間での切磋琢磨する活動が困難である。 ・多様な考えに触れる機会が少ない。
生活面	<ul style="list-style-type: none"> ・常に異学年交流状態であるため、自然に異年齢の間人との交流が図られる。 ・下学年は上学年から学ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下学年の児童にとっては、一年間学級の主役になりにくい。 ・馴れ合いの雰囲気ができる。 ・下の学年が甘えてしまう。
学校行事		<ul style="list-style-type: none"> ・人数の関係で、できることが限られてしまう。 ・一人一人の負担が大きい。

(2) 学校運営の視点から

内 容	メリット	デメリット
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・上学年児童が下学年児童に教える活動をくみやすい。 ・技能教科は、合同で授業を組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の前後で指導する場合、十分な教材研究や授業準備が難しい。 ・担任以外の教師が教えている時

		の児童の様子が把握しにくい。
生徒指導	・ 集団としての在り方を指導できる。	・ 上学年の児童に問題行動が多い場合、下学年に悪影響を及ぼすことがある。 ・ 成長過程により理解に差があるため、言葉をより吟味する必要がある。
学校行事	・ 上学年児童の責任感や所属意識を高めやすい。	・ 下学年児童のモチベーションを高めることが難しい。
指導、研修、校務		・ 2 学年分の校務処理をしなくてはならないので、担任の負担が大きい。 ・ 校外学習はその学年の学習内容にあったものを行うことができない。(交互に行うため)

3 再配置後のメリット・デメリット

(1) 児童の視点から

内 容	メリット	デメリット
学習面	・ 上位の生徒は競い合うチャンスが広がる。	・ 個別の指導の機会が減り、授業時間内に補充しきれないときがある。
生活面	・ 同年齢の集団での話し合いができる。他の児童ができることは、自分もできるようになることに気づいた。	・ 一人一人の責任が軽くなったり、忘れ物が増えた。
学校行事	・ 大きな集団になり、様々な経験ができるようになった。	・ 多様な活動ができるかと思っただが、実際には時間がかかり、活動の幅も質も下がった。
クラブ・部活動	・ 実施可能になり、同じ趣味や好みを持った仲間との活動ができるようになった。	
集団生活	・ 多様な人との関わりができた。 ・ クラスの仲間との活動の中で、自分と集団との関わり方を学ぶことができるようになった。	
その他	・ 集団での遊び(ドッジボール等)や運動ができるようになった。	・ 休みの日や放課後、地区の子ども同士で遊ぶことが少なくなった。

(2) 学校運営の視点から

内 容	メリット	デメリット
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での話し合い活動ができ、児童間での思考を練ることが多くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの時間の関係上、放課後の補充学習を実施することができない。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの教員や他の職員等、幅広い視野での指導が可能になった。 ・教育相談では、多くの職員に相談できる機会がある。 	
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人の負担が減った。 ・多くの職員の意見等で、新しいものに出会う機会が多くなった。 	
指導 研修 校務	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの職員での意見交換や職員間での研修、若手職員での研修など色々な形態で研修が実施できる。 	
PTA 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの分担で行い充実し、保護者の負担が減った。 ・人が増えて役員を選出が楽になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に対する思いが希薄になった。 ・一人一人の保護者との距離が遠くなった。
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設は近くなり、見学等がしやすくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携活動が少なくなった。

【資料2】旧関豊小学校児童・保護者アンケートより

1 再配置後の児童のコメント

(1) 学習面

<p>教室で受ける授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎやかで教室が明るい。 ・色々な人と勉強ができて楽しい。 ・自分やみんなの意見を聞きあえるようになった。隣の席の人に教えあったりできるようになった。 ・人数が少なかったときは、勉強に集中できたけど、人数が多くなってきたら、あまり集中できなくなった。 ・授業以外でも、畑の先生がきてサツマイモの苗を植えて、芋掘りまでやって楽しかった。 ・どちらともいえない。 ・たくさんの方の意見が聞けるので、勉強になる。
<p>技能教科（体育、音楽など）の授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールは人数が多くてなかなか終わらないからよい。 ・人がたくさんいて、歌いやすい。 ・音楽では、大勢で歌えるので歌いやすくなった。体育では、先生が一人ずつに教えられないので大変。 ・人数が多くなってよかったと思う。人数が少ないとあまり楽しくない。（ドッジボールや色々なゲームなど） ・人数が多くて楽しい。 ・体育は人数が多いので、競技もできるようになった。音楽は、人数が多い分、パート別にたくさんの方がいて心強い。
<p>特別教室（理科の実験、図工、家庭科など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・変わらない。 ・班の中に入れてよい。 ・理科ではみんなで実験などをするので、結果などを比べやすい。また、一班が実験を失敗しても、ほかの班の実験を見たりすることができる。図工は他の人と絵の具や筆を貸しあえる。 ・図工室があっていい。 ・理科は、色々な班の結果がわかるようになった。図工は、色々な人のアイディアがあるので、自分のアイディアも浮かびやすい。
<p>グループ学習など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの人数が多いからよい。 ・校外学習がある。 ・みんなで意見を出し合って、一つのものを作れるようになった。 ・人数が少ない方がよいと思う。（少ない人数の方が、少ない人数ならではのものができる） ・多い人数で話し合いをしながら色々なものを作れるからよい。 ・時と場合によるが、まあ楽しい。 ・班の掲示物を作ったり、週で変わるようになったり、班で相談するようになった。

(2) 生活面

休み時間	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多くてよい。 ・すごく楽しい。 ・同じ話題で、盛り上がるようになった。ドッジボールなどの大人数でやる遊びができるようになった。 ・人数が多い方が楽しいからよいと思う。 ・ドッジボールができるようになった。
給食の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・班で囲んで食べられるのがよい。 ・みんなで食べられる。 ・みんなで色々な話ができ、楽しい。毎日当番をしなくていいから大変ではない。 ・楽しい。 ・人数が増えて美味しく感じ、話題も増えるようになった。
清掃活動や係活動、委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・係が色々あって楽しい。 ・掃除がすぐきれいになる。 ・委員会は、一つの委員会で2つの役割をしなくてよくなったから、大変じゃなくなった。 ・多いとふざけるから、人数が少ない方がよいと思う。 ・委員会、係の数が増えた。 ・清掃は人数も増え、掃除場所も増えた。委員会は種類が増えた。

(3) 学校行事や校外活動等

運動会やその他の学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多く、色々な種目があって楽しい。 ・人数が多くて大変。 ・変わらない。 ・人数が増えて、リレーなどが接戦になった。
陸上大会や体操大会、音楽発表会などの校外活動	<ul style="list-style-type: none"> ・変わらない。 ・音楽会は楽しい。 ・音楽会は、発表場所が減った。
校外学習や修学旅行などの課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ・班がいっぱいあって楽しい。 ・初めての行事も増えた。
登下校がバス通学になったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・バスより歩いていく方が楽しかった。 ・歩くよりすごい楽。 ・バスだと、歩いて見える景色が見えないから、歩きの方がいいと思う。 ・気にならない。 ・つまらないときもある。 ・便利になった。 ・歩かなくてよくなった。
その他（学校生活全般および下校後等）	<ul style="list-style-type: none"> ・変わらない。 ・楽しいことも統合前より増えたと思うが、以前の学校生活の印象が強い。

2 再配置後の保護者のコメント(再配置をしてよかったこと、課題として考えていること)

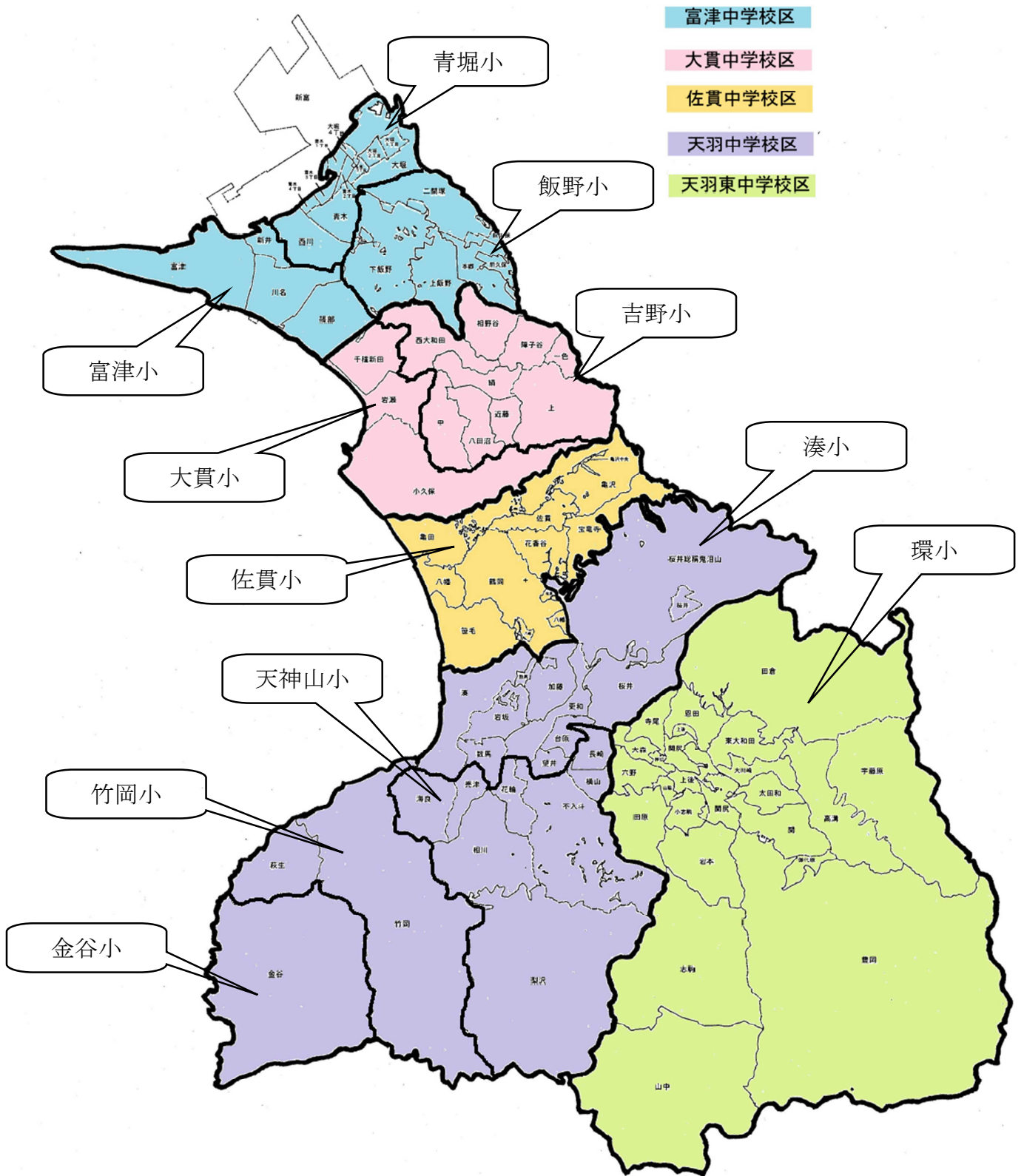
<p>学習面について（教室での授業や体育、理科の実験、音楽などすべての授業で）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業においては、私が見たところだと、積極的さが無いように思う。自分の考えには自信が持てないでいるのかなと感じる。音楽は以前同様に一生懸命取り組んでいると感じる。 ・人数が多くなったことで、子供たちは活気のあるものになっていると思う。音楽（合唱）は前の方が、声が出ていたと思う、特に男の子は、あまり一生懸命歌っているように思えない。学習面も、追いつかないときは、居残りさせてでもしてもらえたのに、バスの時間で帰らないといけない、わからないままになってしまい、上の子と下の子の学力、やる気が全く違う。前の方がよかった。この状態でこのままの人数で中学校へ行くというのも張り合いにかける。早々に中学校の統合を希望します。 ・統合前は、よく先生が見てくれて、わからないところがあるとわかるまできっちり教えていただきました。統合後は、先生の目が離れてしまったためか、意欲的に学習をしなくなってしまったところが問題だと思う。 ・人数が足りなくてできなかった事が、できるようになってよかった。目が行き届かないのか、成績が落ちた様子。 ・関豊時代に身についた「はっきり言う（お話しする）」事ができていると思います。体育は好きだし、友達とも仲良く過ごしているようなので、授業も充実しているのではないかと思います。 ・学習については、以前の方が宿題や家庭学習の意欲があったと思います。 ・よかった事は、自分の得意分野で、それを上回る能力の友人ができたことで、それをもっと伸ばしたいという意欲が出たこと。課題としては、授業中にふざけたり、やらない子の方へ流されてしまうことがあること。
<p>生活面について（休み時間や給食の時間、清掃活動など学校生活全般で）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関豊時代は全校で休み時間を過ごすという感じでしたが、今は同学年との深い関わりを持っていると思うので、それはそれでよいことのように思います。清掃も友達と協力して頑張っているらしいので、お互いにとってよい刺激になっていると思います。 ・友達やクラス以外の子供たちと交流を持って遊んだり、たくさん色々な人と接する事ができるようになってよかったと思う。 ・色々な遊びができる様子でよい。 ・休み時間は体を動かす遊びを友達としているようで、本人も楽しいと思います。給食も完食しているみたいだし、みんな美味しく食べられる環境がよいです。 ・同級生の友達がたくさんできて楽しそうです。 ・友人が増えたことで、それまでできなかった遊びや、活動ができるようになり、色々なことに挑戦してみたいという意欲

	<p>が出たことがよかったと思う。学校生活全般で楽しそうに登校しているの、統合したよい結果の一つと思う。</p>
<p>学校行事について（入学式、卒業式、運動会などすべての学校行事で）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・式典については、見たことがないのでわかりません。運動会は、人数が多くても少なくても、頑張る姿は変わらないと思うので、それに関しては、不安やとまどいなどは持っていないと思いました。 ・人数の少ない中で行う行事では、全員で協力して作り上げる会というものが実感できていたように思います。地域の人も気軽に参加できたものも、行きづらくなったように思う。でも、大人数での運動会は見ていて（リレー等）はおもしろい。 ・やはり人数が増え、全校児童による行事は楽しくなったと感じていると思う。 ・運動会が今までと違うところがあって、物足りない感じです。以前の内容を少し取り入れてもらえると、子供もやりがいを感じるのでは。 ・運動会は前も今も優勝に向けて頑張ることに一生懸命なので、応援するだけです。 ・人数が少ないと1人1人が責任を持ち、頑張っていました。運動会は人数も増え、今までやれなかったことができてよいと思う。 ・関豊小の学校行事は地域の方にも観ていただいたり、参加していただいたので、学校外の大人と話す機会が多く、会話の練習になっていると感じていたが、その機会が少なくなったので少し残念。行事自体は関豊小と変わりなく進んでいると思う。一輪車演技を学校全体で導入してほしい。（体力作りにとっても良いので）
<p>登下校について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがたいことにバス通学させていただいているので、バス停に行けば仲間がいて、一緒に登校し、帰りも一緒にバスで下校なので、個々に通っていた関豊時代よりも登下校は楽しいのではないかと思います。 ・バスの時刻は、しっかりしているので今のところよいと思う。中学になっても、土、日等のバスも使えるのであればよいと思う。 ・スクールバスの登校で、自宅からすぐのところにバス停があるので、事故や不審者などの危険が少なく、安心して見送る事ができている。バスの往来の時間も妥当だと思う。 ・普段は今のままでよいと思うが、行事の前の準備で登校が早いときの手段を考えてほしい。（バスを特別に増やすなど） ・以前は送り迎えでした。今は、バス通学なので朝から友達と通えるという意味では、とても充実していると思う。 ・スクールバスを出していただき、安全に学校への通学ができていると思います。最初は、朝のスクールバスに知らない人が乗っていて怖いと言っていましたが、今は大丈夫です。 ・小学校に関しては、通学バスが時間にあわせて運行してくれ

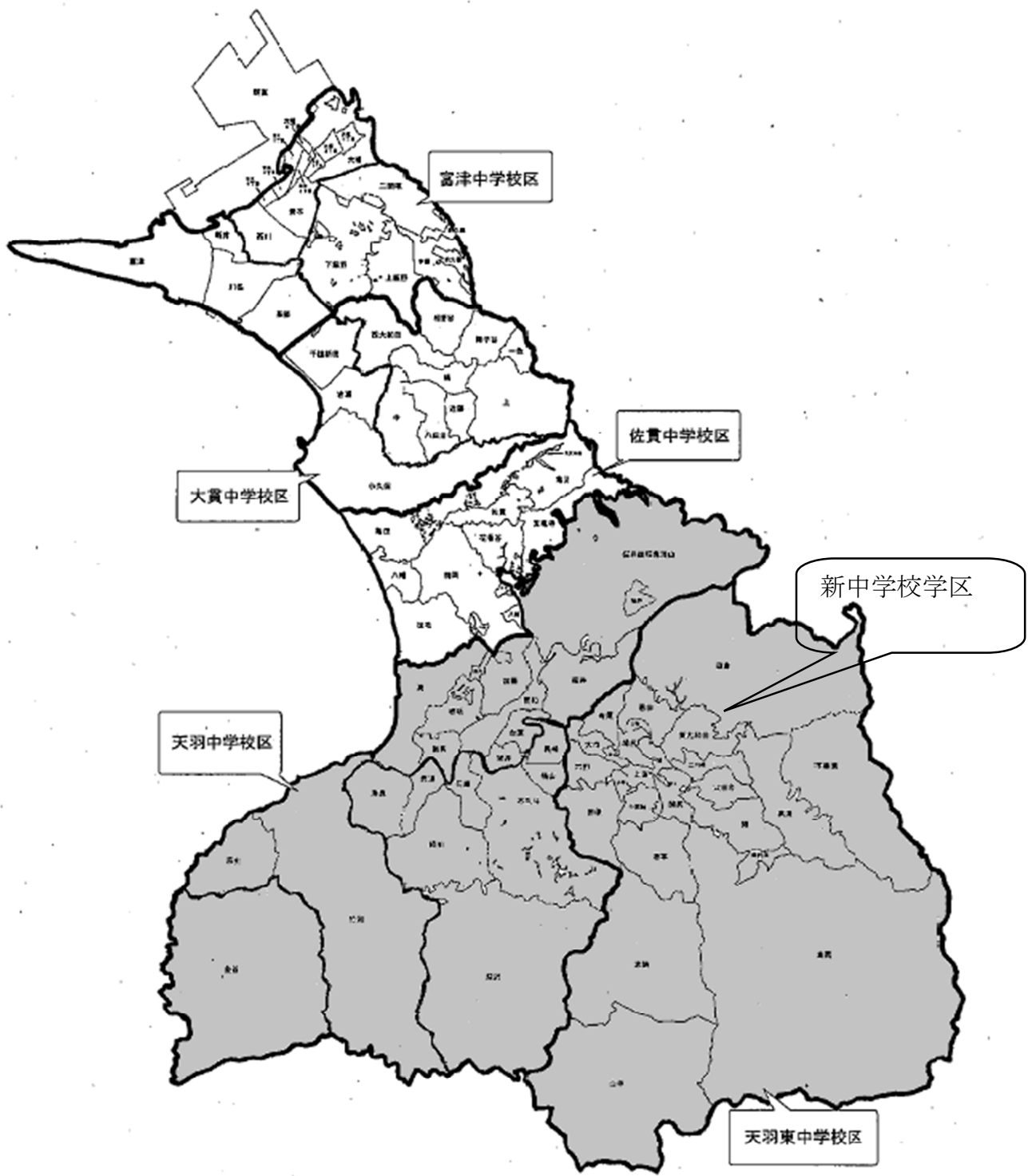
	<p>ているのでよい。</p>
PTA 活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関豊では、全員が何かしらに所属していたので、特にこれといった事はありません。 ・ 役員を決めるときは、少し人数が増えただけなのに、積極的にやってくれる人が少ないと思う。役員以外は、特に何もしないのではなく、子供が通っている学校だからこそ、協力すると言うことを忘れてるように思える。 ・ PTA 活動の仕組みがよくわからなかった。統合前に、PTA 活動について説明を詳しくしてほしいかった。 ・ 人数が少ないので、役員などを必ずやらなくてはいけない状況で、厳しい。人数が多ければよいのではなく、少ない人数でできるものがないか……。 ・ 役員になれば責任を持って果たす、役員でなくても協力する、それだけです。 ・ 以前は何もかも出ないといけないので大変でしたが、人数がいるので楽になりました。 ・ 人数が増えたので負担が減った。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初のうちは戻りたいと言っていたのですが（正直今でも少なからず思っているとは思いますが）、友達が増えて楽しさも増えたようです。先生も気にかけてくださっていたことも大きかったと思うので、感謝ですね。 ・ 統合して今一番気になるのは「いじめ」の問題です。統合前にも何度か環小と交流はあったのですが、未だにまだクラスメートと馴染めないところがあるようで、本人も気にしています。先生方には、もう少し目を光らせて、子供たちを見守ってほしいと思います。先生の配置をもう少し考えてほしい。今回は、2名の先生が統合先へ来ていただきましたが、もう1～2名ぐらい来てほしい（子供が安心するから）。 ・ 子供自身、今後統合などで環境が変わるのは望んでいません。少ない人数で限界があるが、少なくともよい環境にするのが、成長していく子供の心にはよいのではないのでしょうか。 ・ 関豊に戻りたいという気持ちを持っていないと言ったら嘘ですが、子供なりに今をしっかり見つめ、向き合っていると思います。「学校が楽しい」と聞くのが一番です。 ・ やらない子に流されてしまって、流されたまま東中学校に進学して、そのままクラスメートで進級してしまうことがあまり良い事だと思えない。中学校の通学バスも大変不便なので、小学校よりも中学校生活に課題が多いように思う。早めの中学校統合を望みますが、統合される側のPTAの要望も少しは取り入れてほしい。関豊小の時は、一輪車や合唱などの活動を学校全体で取り入れてほしいと要望していたが、ほとんど聞き入れてもらえなかった。環小の学校説明会もなかったので、とても雑な対応だと感じたので、丁寧な対応をしてほしい。

【資料3】小・中学校の学区について

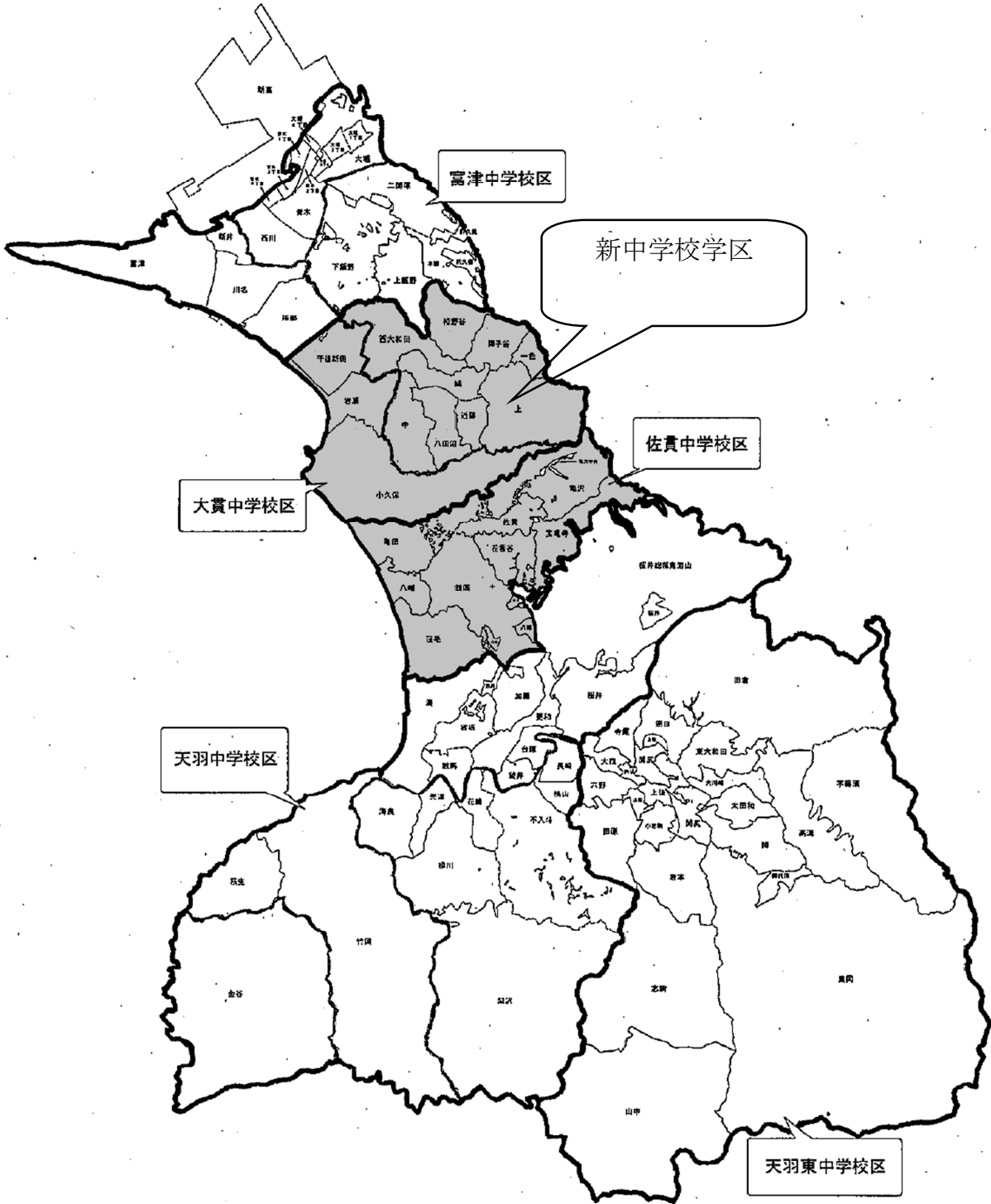
1 市内小学校区



3 天羽中学校・天羽東中学校を再配置した場合の学区



4 大貫中学校・佐貫中学校を再配置した場合の学区



5 天羽地区 4 小学校【湊小学校・天神山小学校・竹岡小学校・金谷小学校】を再配置した場合の学区

